

ペー族の伝統的な 屋根図案による グラフィックデザインの 応用研究

芸術研究科 造形表現専攻
デザイン領域 博士前期課程
2024年3月修了

李頤

主査 三枝孝司 副査 田承焮 西川洋一郎

研究背景

中国雲南省の大理ペー族地域の経済発展水準は比較的低いままである。工業化の進展に伴い、この地域の近代化改革のペースが加速し、伝統的な美術要素（例えば屋根図案）が歴史の流れの中で次第に失われる危険が増している。この論文は、雲南省大理地区のペー族の歴史、文化、美術を紹介し、ペー族の伝統的な屋根図案の形成、変化、継承を研究する。

研究目的

この研究の目的は、ペー族の屋根図案をグラフィックデザインに応用することにより、ペー族の伝統美術文化を保護・発揚し、現代人の美学と生活趣向に応えることである。ペー族の伝統図案の主な源泉と表現形式を分析し、印染技術、屋根図案、民家彩画などを例に挙げ、これらの図案が自然、宗教、民俗などの多様な要素に影響され、多元的な文化を融合し、ペー族の美学観と生活趣向を反映している。

研究概要

- ペー族屋根図案の特徴と視覚分析：中国のペー族の屋根図案は非常に特別な存在であり、文献によれば、ペー族地域の人々は早くから芸術的な模様を使って周囲の物を飾り始めた。宗教、文化、使用習慣の影響を受けて、徐々にペー族の屋根図案は完全なシステムが形成された。この成熟したシステムの背景には、ペー族の千年にわたる文化史と地方文化の価値観がある。ペー族の屋根図案を理解するには、その模様の特徴、製作方法、構図方法などの特徴をより明確に理解する必要がある。



図1 ポスターデザイン 1



図2 ポスターデザイン 2



図3 上: 木製如意デザイン、
パッケージデザイン
下: お茶のパッケージデザイン

- 屋根図案の制作：ペー族屋根図案の制作過程と技法を紹介し、壁の処理、下地の作成と下絵の描画、中心線の取り分けと描画、ぼかしと固定・埋め合わせなどの工程を説明する。
- ペー族屋根図案がグラフィックデザインにおける応用：伝統的な屋根図案をグラフィックデザインに応用する際に直面する問題点を提起し、ポスターデザイン（図1、図2）、木製如意デザイン、パッケージデザイン（図3）などの具体的な例を示す。伝統的な屋根図案と現代的なデザイン要素を組み合わせることで、新たな視覚効果と表現力を創出し、ペー族美術文化の発展に貢献することを目指す。

成果・まとめ

大理地区のペー族伝統屋根図案の研究を通じて、その歴史的、文化的価値とデザインの意義を深く理解した。これらの図案は、単なる視覚芸術ではなく、ペー族の自然、社会、宗教、歴史への理解の表れである。ペー族の歴史や宗教背景から生じたこれらの図案は、時間を経て形成され、伝承されている。また、ペー族の生活哲学、美的嗜好、文化伝統を映し出している。大理のペー族伝統図案は、文化遺産としての価値が高く、歴史と文化の証、芸術とデザインのインスピレーションの源である。これらの価値ある遺産を大切に、伝統を尊重しながら発展させる努力が求められている。



指導教員コメント

中国雲南省の大理ペー族（白族）の図案等の研究は他の文献等でも詳しく研究されたものではなく、本研究は中国の少数民族のデザイン文化の調査研究の上で、非常に有意義なものである。論文ではペー族の歴史と文化からペー族独自の屋根図案の特徴と視覚分析について、図解によりわかりやすく述べている。作品は論文の分析から得られた屋根図案の特徴をパッケージデザインとポスターの作品で制作しており、ペー族の図案を発展させた独自の表現として評価できる。

三枝孝司